



Q174. 伝えるときには？



A. まずは正しい距離感と正しいスキンシップかな。

性の問題を人に教えるときって、確実にハードルがあるよね。
どうしても"性行為"というものが頭をよぎってしまうし、恥ずかしさも前に出てしまうと思うんだ。
でも、これまでの話から、それだけじゃないって知ってもらえたと思うよ。

ここ数年、私たちの研修の講師をしてくださった平木真由美氏は「性教育とは人権教育だ」と仰っていたよ。
性を考えるということは人権を考えることであり、性というものは自分自身を知る、という哲学的なこと、だったよね。
大げさかもしれないけれど、まずはここを基礎として認識するべきなのだろうね。

正しい距離感、というのは、踏み込んではいけないプライベートな空間が身の回りにある、ということだね。
これは物理的にもあるし、精神的にもあるものなんだ。
「近いよ！」と思わず言ってしまう距離感っていうと、想像できると思うよ。

これは、いままで一緒に考えてきたように「異性間」だけの話ではなくて「ひと対ひと」の話。
異性であっても同性であっても、他者が踏み込んではいけない「プライベートな空間」というものが、精神的にも肉体的にもあるんだ。
まずはその空間を正しく認識できることが大事なポイントだよ。

次に大事なことは、その「プライベートな空間」に入られたときや入るときに「合意」できるか、ということなんだ。
「使ってもいい？」「どうぞ」、「入りたいんだけど？」「ダメ」
聞けることや返事ができることも大事だし、言われて納得できる力も必要なんだ。

これは児童発達支援や放課後等デイサービスで、いつも練習していることだよ。
「入れて」や「貸して」を言える力だし「Yes」や「No」を伝える力だね。
そして返事に対して「気持ちを切り替える力」でもあるね。

ちょっと話はズレるんだけど、保護者さんに「どういう力を身につけて欲しい？」と尋ねると、ほとんどは「話せるように」と「気持ちをコントロールできるように」なんだ。
「話せるように」というのは「自分の気持ちを伝えられる」ということだよな。
「気持ちをコントロールできるように」は、拒否されたときに納得して自分の気持ちを切り替えられる力、のことも含んでいると思うんだ。

これらの力を持っている、身に付けられているということが基礎となって、正しいスキンシップ、の出番になってくる。

握手や寄り添う、ハグなどがそうで、その延長線上のずっと先に性行為があるんだ。
ということは、まずは握手や寄り添う、ハグからの話ということになるね。

好ましい人に触れられると、嬉しいと思うよ。

指先でも前腕でも、触れられたときの人肌の暖かさは「気持ち良さ＝快」に感じられる。マッサージも気を許した人にやってもらった方が、気を許せない人にやってもらうよりも効果があるそうだよ。

イヤ、と思う人に同じように触れられると、あまり嬉しくないはずだよ。

これは「快」に対して「不快」と思うからだけど、「快」が解らないと、なにが「不快」かは解りにくいものなんだ。

だからこそ、信頼できる人とのスキンシップが必要なんだね。

このときに「プライベートゾーン」という考え方が重要になるよ。

自分の身体全部がプライベートなもので大切なんだけど、ここでいうのは水着を着たときに隠れる部分を「プライベートゾーン」とするよ。

「見るのも触るのも自分だけ」と肯定的に伝えたいので、周りの大人も自身の「プライベートゾーン」を尊重する姿勢が必要だよ。

一定の年齢になると、自分以外の人との身体的な関わりに興味が出てくる。

そのときに、そこだけに特化して考えてしまうと、臭いものに蓋、になりかねないよ。

普段の生活の積み重ねが、性を伝える場面でも必要になってくるんだ。

もちろん、それなりの年齢になると粘膜刺激が必要なこともあるよ。

でも、それは家族が教える、というにはハードルが高すぎると思うんだ。

むしろ家族だからこそ、恥ずかしくて伝えにくいことのほうが多いかもしれない。

そこで、家庭と学校、放課後等デイサービスなどの連携が必要になってくるんだ。

どういう肉体的な変化があり、気持ちの上での変化が訪れるか、ということのを正しく伝えていくための役割分担と連携、だね。

間違ったことではないので不必要に咎める必要はないけれど、場所やタイミングはきちんと決めたほうが良いことが多いみたいだね。

「性の教育」というのは、モヤモヤした気持ちを粘膜刺激で発散させる、ということじゃないんだね。

正しい距離感で正しいスキンシップから始めることが大切なんだ。

これは児童発達支援や放課後等デイサービスの中で、普段から実践されていることのひとつの成果、ということなんだね。

《MENU》

《[LGBTQ+ってというのは？](#)》

《[カミングアウトとアウティングというのは？](#)》

放課後等デイサービス支援事業
Support Project of
Day-service for After-school
At Kyoto

2024-03-11 掲載